和牛、輸出に活路

全農系、香港に焼肉店／スターゼン、今年度2倍に

アジア・米で需要増

国内の食肉卸会社が相次いで和牛肉の輸出に力を入れ始めた。JA全農ミートフーズ（東京・港）は販路となる焼肉店を香港で開業。スターゼンは2013年度の輸出量を前年度に比べ2倍を目指す。アジアや米国でステーキやしゃぶしゃぶ向けに和牛の消費が増える一方、国内市場が伸び悩んでいることが背景にある。

ミートコンパニオンは食品見本市で輸出用向けブースを出した（千葉市の幕張メッセ）

JA全農ミートフーズは和風焼肉店を海外出店し、和牛肉の輸出に力を入れる戦略に動いている。海外初となる和風焼肉店「純」を2月に香港に開店した。同店で提供する焼き肉やすき焼きなどのために、日本で調達した和牛肉を輸出する。

同社は香港向けのほか、米国やシンガポール、タイなどに和牛を輸出しており、2012年度の輸出見通しは約120トンと、前年度の倍となった。ステーキ店を中心に販売する。焼肉店の出店で牛肉輸出が増える効果もあり、3年後には輸出量を2倍に増やす計画だ。

卸大手のスターゼンも、子会社のスターゼンミートプロセッサー（東京・港）に昨年10月、輸出推進部を設けた。鹿児島県産の和牛の肉を中心に、香港、米国、シンガポールなどに輸出した。12年度の輸出量は約120トンと前年度の2倍となる見込み。13年度は倍増を目指す。

食肉卸のミートコンパニオン（東京都立川市）も2月にタイに現地法人を設立したばかり。5月からタイに和牛肉を月間500キロ輸出する。3年後には10倍以上に増やす計画だ。3月には千葉市で行われた食品見本市で輸出肉の展示を出した。

各社が販売するのはステーキ用のロース肉が中心。現地での販売価格は、輸送コストなどもかかるため、国内より割高となる。それでも、海外の富裕層が霜降りの和牛を高く評価しており、需要が伸びている。

現在の輸出の中心は4～5等級のロース肉だが、各社は脂肪の入り込みが少ない3等級以下の和牛やバラ肉など他の部位の販売を目指す。

「ももやバラならロースの半値近くで販売でき、富裕層以外にも消費者を広げることができる」（ミートコンパニオンの植村光一郎常務執行役員）

スターゼンミートプロセッサーでも、「ロース以外の部位の切り方の指導や、しゃぶしゃぶやハンバーグなどの料理提案もしながら、海外での需要開拓をしていきたい」（茂原馨社長）と話している。

「湘南ポモロン」本格販売

神奈川県のトマト新品種

細長く加熱もOK

神奈川県農業技術センターが開発した細長いトマト

＝写真＝の本格販売が始まった。名称は「湘南ポモロン」で、生食だけでなく加熱調理にも向くという。名付け親の黒岩祐治知事は「機能性成分を豊富に含む、オリジナル品種として育てていきたい」と話す。

イタリア語でトマトを意味する「ポモドーロ」と、細長い形の「ロング」を組み合わせ、お菓子を思わせる名称とした。果肉が厚く煮崩れしにくいため、ソテーやパスタなどに調理しやすい。

県内の大型直売所や量販店を中心に6月下旬ころまで販売する予定。一部県立施設のレストランで、ポモロンを使ったメニューの提供も始まっている。

（横浜）

鶏肉の輸入量 3・4月も減少

食肉輸出入協見通し

日本食肉輸出入協会（東京・港）は鶏肉の輸入量が3、4月と減少する見通しだと発表した。2月の輸入量は4万200トン程度と前年同月に比べ1割程度減少したもよう。輸入鶏肉で主力のブラジル産の現地価格が上昇していることもあり、3月、4月も輸入が減少すると予測した。輸入鶏肉の在庫量は1月末で前年同月末比13%減の10万1947トン。昨年11月から3カ月連続で前年実績割れとなっている。

アを、16年には10%以上を目指す。県内農家はコシヒカリを作る傾向が強いが、外食や、弁当などの中食業界では安価なコ

大学の植物工場が広がる。

センターの敷地は果樹園だったが、周囲の宅地化で農薬が使いにくくなった。そこで「閉鎖型で農薬を使う必要がない植物工場へ転換することにした」（大学院園芸学研究科の丸尾達准教授）。

この人あの組

世界でも千葉大学の植物工で栽培する結球型レタス。の向こうは屋内の栽培施設

レタス

データによる管理の徹底だ。各施設に室温などを把握するセンサーを700個取り付け、1分ごとにデータを集めている。数字を見ながら、収穫量を高められる環境を分析する。これまで農家が勘や経験で判断した生産技術を「見える化」し生産するようになった。

「食品工場の隣に植物工場を造れば、物流費がかからず環境に優しい。寒い国や地方でも季節を問わず年中農業ができる」。丸尾准教授は日本発の技術拡大の夢に、目を輝かせる。

（林哲矢）

主な業務用食材の価格と予

（先週金曜時点・円、矢印は今週の予想）

〈コメ〉（卸間、玄米、1等、60キロ、2012年産）…

コシヒカリ（新潟、一般）

あきたこまち（秋田）

きららぶ397（北海道）

〈生鮮野菜〉（大田市場、相対、税込み、1ケース、高

キャベツ（愛知、10キロ）

レタス（茨城、10キロ）

大根（神奈川、10キロ）

トマト（熊本、4キロ）

タマネギ（北海道、20キロ）

〈輸入果実〉（仲卸、現金、1ケース）……

バナナ（フィリピン産、13キロ）	2300－
レモン（カリフォルニア産、140個）	3300－
グレープフルーツ（フロリダ産、40個）	3500－
オレンジ（カリフォルニア産、88個）	3300－